

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。また、日頃より格別のお引き立てを賜わり誠にありがたく、厚く御礼申しあげます。

当社の業績は概ね良好に推移しているものの、外部環境は、原材料や調達部品を始めとした価格高騰や、景気減速の懸念もあり楽観を許しません。当社は、外部環境が変化する中でも、収益レベルの安定と、更なる成長の実現のため、加古川・神戸両製鉄所の高炉の改修やチタン溶解炉の能力増強、海外における線材二次加工、溶接材料、アルミ鍛造品、機械などの生産体制の整備といった競争力強化に取り組んでおります。また、新製鉄法「ITmk3」（アイティ・マークスリー）の商業用1号機を米国に建設することで現地の電炉メーカーと合意に到るなど、次代の「オンリーワン製品」の芽も確実に育っております。

当社は、引き続き「2006-2008年度グループ中期経営計画」の目標達成と持続的成長に向けて、気を緩めることなく取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長

犬伏 泰夫

平成20年2月